

2023~2024

国際ロータリー第 2730 地区



CREATE HOPE
in the WORLD

RI テーマ
世界に希望を
生み出そう

週報 佐土原ロータリークラブ

会 長： 梶田 直樹 副会長：小牧 義隆 RI2730 地区ガバナー 池ノ上 克
 幹 事：福島 城史 会計：内村壮祐 中部グループガバナー補佐 長嶺 貴臣
 事務局：押川有里 会報委員： RI 会長テーマ 世界に希望を生み出そう
 例 会 場：コンベンションセンター 2730 地区スローガン 「平和を求め、希望あふれる、
 明るいロータリーライフを進めよう」
 例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL :0985-21-1133・FAX 0985-21-1144
 事務局住所：宮崎市神宮東 2 丁目 6-26 TEL0985-72-7600 FAX0985-72-7600

第 1662 回例会 令和 6 年 1 月 24 日(水)

今日のプログラム

- 1.点 鐘
- 2.ロータリーソング 『奉仕の理想』
- 3.4 つのテスト
- 4.会長の時間 梶田直樹 君
- 4.幹事報告 福島城史 君
- 5.出席報告 出席委員会
- 6.委員会報告 ハッピーBOX披露
- 7.アジサイ賞 授与
- 7.会員卓話 吉田康一郎君
- 8.SAA次週例会案内

第 1661 回例会記録 令和 6 年 1 月 17 日 (水)

■会長の時間 会長梶田直樹君



皆様
 1 月 12 日に開催
 しました『家族懇
 親会』に多くの方
 に参加いただきま
 して、本当にあり
 がとうございました。
 ご家族の方も多く
 の参加でしたので

本当に盛り上がりました。

2024 年スタートして、年始初めより能登半島地震、日航機と海保機事故、北九州商店街の火災と悲しいニュースが続いています、被災されました方々へのご冥福とお見舞い申し上げます。

震災については『国際ロータリー第 2610 地区』より支援要請が来ていますので、支援金という形で支援に協力したいと思います。

ニュースで、電気・水道などのインフラが止まっており、大変厳しい環境にあるという情報がありますが、その中でもトイレが大変というニュースがありました。

トイレ使えないという問題と、トイレが清潔に使えていないことから、不衛生で体調不良や感染症に繋がっていくということです。

災害時の備えとして、簡易トイレを準備しておいた方が
 良いと思いつくくらい準備しておく必要があるの
 か調べてみたところ、トイレに行く回数を考えて用意
 すると、人が一日にトイレに行く回数はおよそ 6~7 回
 だそうです。多めに 7 回×人数分×日数分を用意し
 ます。たとえば、4 人家族で 3 日分なら、「7 回×4 人
 ×3 日=84 回分」が必要になるそうです。(最低 3 日
 ~推奨 7 日) 参考：100 回分・・・6,000 円ぐらい
 皆さんも、万一のことを考えて備えておきましょう。
 もう一つ、献血の話をしたと思います。

22 年ぶりに献血をしました。献血を思い立った理由と
 してコロナのころから、新聞などで献血が不足して困
 っているという記事を見て行かなければ。。と思っ
 ていました。それでも中々踏ん切りがつかないのです
 が、正月の震災を見て何かできることは。。と思っ
 ていたところ、宮崎神宮に初詣に行った際に、神宮の駐
 車場で献血車両が待機しており「こんなところにもか
 も正月から献血車両が来て協力しなければ・・・」と
 思いました。

でも、その時は時間が無くそこではやらなかったの
 ですが、先週、元カリーノの宮崎県赤十字血液センター
 に直接行って献血してきました。

22 年ぶりと言いましたが、まず、驚いたことに、血液
 センターにはしっかりと以前の情報が残っており、22
 年前に会社に献血車両が来ていた時に行っていた記
 録がありました。

年 3 回まで献血できるということですので、これから
 定期的実施していこうと思っております。

ずっと、やらなければと思っていたことが実践でき
 ると気持ち的にもスッキリしますね。

何かの 1 歩を踏み出す行動力を実践していきたいと思
 います。

■幹事報告 福島城史君



■能登半島地震の災害義
 援金の要請が来ておりま
 す。

皆さんの協力をよろし
 くお願いします。

■2 月 4 日 IM の開催、参
 加の程よろしく願います。

■出席報告 岩切正司君



本日の出席 18 名
18/25 72%
毎回同じ人の欠席
がありますが、これ
が続くと、大会につ
ながりますので、声
掛けをお願いします。

■HP・BOX 披露 原田宗忠委員



誕生記念：
福島城史君
原田宗忠君
結婚記念：藤堂
孝一ご夫妻



■会員卓話 佐々木達郎君



【ロータリーの創始時にその基礎を築いた 3 人】

(1) アーサー・フレデリック・シェルドン

シェルドンがシカゴ RC に入会した 1908 年、入会
の挨拶はシカゴクラブに大きな影響を与えました。
1910 年シカゴにおいてロータリークラブ全米連合会
が開催された時、彼は講演会で次のように述べており
ます。『19 世紀の特徴は競争であった。それは同族相
食うような競争であった。取引の義務は「買い手は自
分で気をつけよ」ということであった。ところが 20 世

紀に入ってから、総じて人間の知識が発達して知恵
の光が輝き始めたのに連れて、20 世紀の商売の姿の特
徴となるべきは「協調」であるべきだ。なぜならば“他
人への正しい行為という科学”だけが引き合うことにな
るからである。商売は人道的サービスの科学である。
すなわち、「人に対して最も良くサービスする者こそ
最大の利得がある」のである。』

また第 2 回の全米大会 (1911 年) で、シェルドンは
再び演説してくれるよう求められたが、彼はある事情
により出席できなかったため、シェルドンは原稿を大会
場へ郵送しました。シェルドンの演説原稿は大会幹
事が、これを代読しました。これは大変な感銘を大会
の全出席者に与えました。シェルドンの代読演説は
「商売はサービスの科学なり」と繰り返し述べていま
す。彼いわく「商売の科学はサービスの科学である」。
その科学とは、すなわち “He purofits mosut
Who servesu best” である。いかなる会社、団体
の成功もそのサービスに従事する人々の成功の積
み重ねである。広い意味ににおいては、各自はセール
スマンである。各自は売ることのできる何者かを持っ
ている。それがサービスであろうが日なものであろう
が。人生における成功は広い意味では、幸運とか、チ
ャンスとかによるものではなく自然の法則に支配され
るのだ。精神的、道徳的、物質的及び霊的な法則に
左右されるものである。すべてこれらの自然法則と調
和して働けば、最高の成功が得られるはずである。人
もし宇宙の大法則を知れば、おのずから万物存在の意
味が解けてくる。それは、人類連帯の自覚であり、万
有一如 (万物は皆ただ一つ) の認識であり人間皆同法
の理解である。この高い水準に立って眺めるとき、
人々は次の事実が誤りなき現実であることを了解す
るに至るであろう。すなわち、商売上であろうと、あ
るいはまた一般処世上であろうと、“最善のサービ
スをなすものに、最大の利得があるのである。“これら
の名句は、そののち各クラブで利用されましたが、こ
れが大会決議として公式に採用され、ロータリーの標語
となったのは 1950 年のことでありました。

文責 2015 年 10 月 17 日 山脇 忍

例会の様子

